

あっぱれ 拍子に 優 拍手!

小学生

■香取郡香取市小学校水泳大会	
2位	男子 75m 個人メドレー 佐藤隼右 (第一小)
〃	女子 50m 自由形 菅澤侑良 (第一小)
〃	女子 100m 平泳ぎ 佐藤陽香 (第一小)
〃	女子 50m バタフライ 菅澤侑良 (第一小)
〃	女子 150m メドレーリレー 第一小 佐藤陽香、並木湖夢、椎名愛莉
3位	男子 150m メドレーリレー 久賀小 熱田翔也、山倉良太、林優誠
〃	女子 100m 平泳ぎ 並木湖夢 (第一小)
〃	女子 100m 背泳ぎ 佐藤陽香 (第一小)
〃	女子総合 第一小
■香取スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	
2位	男子 多古 MBC
■第22回多古町ドッジボール大会	
優勝	低学年の部 多古町スポ少野球部3・2・1年
2位	〃 がんばれ久賀っ子 A
3位	〃 がんばれ久賀っ子 B
優勝	高学年の部 ジュニアリーダーズ A
2位	〃 多古町スポ少野球部 6年
3位	〃 多古町スポ少野球部 5・4年
■第30回成田空港周辺児童書道・絵画展	
最優秀賞	絵画の部 飯田莉央 (常磐小)
銅賞	書道の部 津島伊月 (常磐小)
第30回記念特別賞	
	書道の部 野平芽依 (常磐小)

中学校

■第11回多古カップ中学生・高校生ゴルフ大会	
2位	中学生女子個人 中谷舞
3位	〃 平山光優

一般

■香取郡民体育大会クレール射撃競技	
優勝	総合 多古町
〃	トラップ団体の部 多古町 戸村登志二、菅澤英明、山倉敏夫
〃	スキート個人の部 飯田俊弘
〃	トラップ個人の部 戸村登志二
2位	〃 菅澤英明
3位	〃 山倉敏夫
■香取郡民体育大会弓道競技	
優勝	多古町 伊藤裕巳、菅澤由希、加瀬茂樹、大矢憲司、海淵幸成

歌は人を変える力がある

北中久保地区の集会所にはカラオケで盛り上がっている一団があります。その名も「道楽会」。結成は約2年前、集会所を生かして地域の活性化ができないかと数人の歌好きが集まったことがきっかけでした。始めたばかりの頃は点数を気にして恥ずかしがっていましたが、今では点数にかかわらず楽しんで歌っています。

8月16日、40歳から70歳代の男女10名が集まり、次々にマイクが回されて歌が途切れません。「気持ちが開放されて、最後は笑って帰れる。明日への活力になっています」「家に閉じこもり気味になっていたけど、みんなと集まって歌えるのでストレス解消になっています」と皆さんイキイキと話します。仲間と集まり歌うことによって、一人ひとりの表情が明るくなり前向きな気持ちへと変わり、そして年代を超えた絆が生まれています。今後この良さを広めて仲間を増やしたいと目標を語っていました。



さわやかラジオ体操でみんな元気に!

朝もやに包まれた8月2日、中村小学区コミュニティ育成事業「なかつこ森のさわやかラジオ体操」が中村小学校で行われました。



夏の恒例となったこのラジオ体操には約170名が参加、ジュニアリーダーの6年生がお手本となり、子どもたちは元気に、大人たちは体をほぐすように心地よい汗をかきました。

体操の後には、出来たての炊き込みご飯と冷たい麦茶が振る舞われ、みんなで食べるご飯は格別に美味しく、朝一番の楽しい時間となりました。

気を付けましょう 食中毒

夏期に多発する食中毒による被害を防止するため、千葉県では毎年8月を「食中毒予防強調月間」と定め、消費者や食品取扱者へ啓発活動を行っています。

この活動の一環として、8月6日、多古町を含む香取管内の食品衛生協会の方々により、「手をきれいに洗いましょう」「冷蔵庫の温度は10℃以下にしましょう」など、広報車で食中毒を予防するポイントを呼びかけるパレードが行われました。



町長日誌

(8月1日～31日)

2日	消防団夏季訓練
3日	旧多古幼稚園改修工事説明会 道路愛称表彰式
4日～5日	千葉県町村会町村長現地研修会(長野県)
6日	県下一斉食中毒予防パレード出迎え 総合教育会議
10日	匝瑳市ほか二町環境衛生組合議会定例会(匝瑳市)
31日	千葉県町村会決算監査

町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画財政課広報係
☎76-5409



貴重な植物の宝庫「多古光湿原」

多古町と横芝光町の境界で、栗山川と借当川が合流するところにある湿地帯は「多古光湿原」と呼ばれています。そこには絶滅のおそれのある野生植物が数多く自生しており、その中には多古町の名前が入っている植物があります。その学名はCyperus × takoensis Yashiro。ムジナググというカヤツリグサ科の植物で、環境省希少植物種検討委員などを務める谷城勝弘さんが発見・登録し、未だ他の国や地域で発見された情報がなく、ここにしか自生していない貴重なものです。

8月21日、谷城先生による現地観察会とミニ講演会が開催され、わかりやすく解説してくれました。「多古光湿原は、計り知れないほどの希少な価値を持った場所ではないかと思えます。貴重な植物の存在する、世界に誇れる場所があることを皆さんに知ってもらいたい。そして子どもたちにとって郷土を愛する心を育む場所にできたらと思います」と谷城先生は話していました。



谷城先生による講演会が開催されます

「多古光湿原の植物」

とき●10月4日(日)
午後2時から
ところ●多古町コミュニティプラザ3階
皆さんの参加をお待ちしています。

寿司を通じて多古米をPR

8月20日に開催されたWORLD SUSHI CUP JAPAN 2015、9月2日のグローバル寿司チャレンジ2015日本予選大会。世界各国の寿司職人が参加して日本の伝統技術や衛生技術、創作性を競うそれぞれの寿司大会で多古米がオフィシャル米として使われました。

都内で開催されたグローバル寿司チャレンジ2015日本予選大会には、多古町の小島寿司さんを含め、国内各地から寿司職人11名が参加し、11月に開催される決勝大会への出場をかけて戦いました。残念ながら小島さんは決勝大会へ進めませんでした。が、「普段とは環境が違うので疲れたけど、このような大会に出場できたことは、良い経験になるので満足しています。いろいろな大会で多古米が使われ、より多くの人々に多古米を食べてもらえたらいいですね」と話します。



(WORLD SUSHI CUP JAPAN)

